

一般会計予算の特徴

一般会計の予算規模は95億5,000万円、前年度と比べ9億600万円(△8・7%)の減となりました。これは学校給食センターの建設工事が終了したことなどによるものです。

長引く不況の影響により町税の減少が見込まれ、当町においても厳しい財政状況が続きますが、将来の横芝光町に希望を持てる町づくりに向け、新規施策に重点を置くとともに、従来の事務事業に係る必要性や事業規模等について見直しを行うなど徹底した経常経費の削減に努め、堅固な財政基盤を構築し、横芝光町の持続的発展を維持するための予算を編成しました。

特に町の一体性を図るための「道路整備」や、「子育て支援」「教育の充実」「高齢者対策」など、第1次横芝光町総合計画の推進にあたり、引き続き重点的に取り組んでいます。

歳入

主な歳入の特徴

《町税》

町税では、町民税が景気の低迷により所得の減少に伴う影響等から前年度に比べ1億710万円(△10・3%)の減となりました。固定資産税は償却資産の減少などの影響から2,900万円(△2・5%)の減を見込みました。

《地方交付税》

地域主権改革に沿った財源の拡充が図られ、国の地方交付税総額が増額されたことから、前年度に比べ4,000万円(1・5%)の増を見込んでいます。

《国・県支出金》

国庫支出金は、駅前広場整備事業等に係る社会資本整備総合交付金の活用や子ども手当負担金の増があるものの、学校給食センター建設工事が終了したことや(仮称)長塚、北清水橋架橋・取付道路整備事業等に

係る道整備交付金などの減により2億2,811万円(△19・2%)の減額となりました。

一方、県支出金は、緊急雇用創出事業補助金、子ども医療費助成事業補助金、保育所緊急整備事業補助金や子宮頸がん等のワクチン接種補助金の増により4,877万円(8・6%)の増額となりました。

《繰入金》

繰入金は、各学校の施設改修事業や横芝給食センターの解体事業費等へ充てられた学校施設等整備基金を4,500万円、横芝B&G海洋センター体育館改修や図書館情報システム更新事業等へ充てるため文化スポーツ振興基金を2,500万円、奨学資金貸付事業に充てるため教育振興基金から240万円を繰り入れるほか、財政補てんのため財政調整基金から4億円の繰入を行うこととなり、3億2,833万円(214・7%)の大幅な増額となりました。

《町債》

町の借金である「町債」では、防災行政無線の更新事業や白浜小学校屋内運動場等整備事業などが増額となるものの学校給食センターの建設が終了となることなどから合併特例債が大幅に減額となりました。

また、地方の財源不足を補てんする臨時財政対策債は、前年度同額を見込み、総額で8億7,600万円(△42・1%)減の12億410万円を見込んでいます。町債のうち合併特例債は、その償還額の70%が、地方交付税措置されるため、財政運営上非常に有利なものとなっています。

《民生費》

子どもの医療費に要する費用を軽減するため、4月から医療費無料化の対象者を中学生まで拡大するほか、町立保育所の給食を民間業者からの外部搬入により提供するための経費を計上しました。

また、誰もが安心して暮らすことができるよう、高齢者の介護予防や生活支援のほか、障害者の日常生活への支援などに必要な経費を計上するとともに、社会保障制度の運用のための経費を計上しました。

歳出

主な歳出の特徴

《総務費》

成田国際空港による航空機騒音対策に要する経費や、防犯対策を充実するための